

# 宮古・室蘭フェリー航路開設をPR!

港湾課

平成29年1月26日盛岡市内で、宮古港と室蘭港を結ぶフェリー航路（平成30年6月開設予定）の開設に向けた「宮古・室蘭フェリー航路セミナーin盛岡」（宮古港フェリー利用促進協議会主催）を開催しました。

自治体、経済団体、観光物流業者の関係者ら約160人が出席し、講演やパネルディスカッションを通じて、航路開設のPRなど、利用機運の醸成を図りました。

## 講演①「室蘭港が魅せる新たな発見」

室蘭市 小泉副市長

- 10年ぶりのフェリー航路開設に期待。
- 開設に向けて平成29年度、フェリーターミナルビルを再整備。
- 地球岬、むろらん3大グルメ（カレーラーメン、やきとり、クロソイ）、室蘭夜景等の見所を紹介。

## 講演②「北海道発着フェリーの現状と宮古・室蘭航路の展望について」

川崎近海汽船 岡田フェリー部長

- 10時間の航海時間が丁度よい。
- 宮古発は宅配貨物や札幌ドームでのコンサート機材等を見込む。
- 他の交通機関と連携した観光客集客プランも考えていきたい。

## 講演③「宮古・室蘭フェリー航路による新たな可能性」

札幌大学 千葉教授

- 新聞報道等により、航路開設の認知度、期待は高まりつつある。
- 岩手→新千歳→世界への物流の提案。

## パネルディスカッション「宮古・室蘭フェリー航路開設による岩手県への効果」

コーディネーター 千葉教授

- パネラー
- 岡田フェリー部長
  - 今井教授（岩手大学）
  - 田村社長（岩手県産株）
  - 佐々木旅行部長（岩手県教互センター）

## パネルディスカッションでの主な発言

- トラック運転手の労務管理に貢献できる。地元利用が航路維持・拡大のポイント、新千歳からのインバウンドも取り込みたい。（岡田部長）
- 道内の大学、企業との連携等人的交流が広がる可能性あり。（今井教授）
- 北海道との物流量が拡大することが地場企業にプラスに働く。北海道に来ている外国人観光客をフェリーで岩手へ誘導することを考えてほしい。（田村社長）



## ★宮古・室蘭フェリー航路（平成30年6月開設予定）

1日1往復（片道10時間）

宮古発 08時00分 - 室蘭着 18時00分

室蘭発 20時00分 - 宮古着 翌06時00分

船名 シルバークイーン（川崎近海汽船）

車両積載能力 トラック 69台 乗用車 20台 旅客定員 600人